

**令和5年度別府市流通・消費行動実態調査
報告書
(概要版)**

2024（令和6）年3月
別 府 市

I 調査の概要

1. 調査目的

別府市内の流通及び市民の消費生活に関する意識や実態を把握・分析することで、市民の消費行動や市内事業者の調達実態を明らかにし、効果的な施策の推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の設計

【流通調査】

- (1) 調査対象 別府市内に本社または支社を置く、小売・宿泊・飲食業の事業所 2,000 件
- (2) 抽出方法 株式会社東京商工リサーチの企業情報より業種を条件として無作為抽出
- (3) 調査方法 質問紙郵送、郵送回答
- (4) 調査時期 令和 6 年 1 月 5 日～2 月 12 日

【消費行動調査】

I 別府市民の消費行動調査

- (1) 調査対象 別府市内在住の市民 2,000 名
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より層化無作為抽出
- (3) 調査方法 質問紙郵送、郵送回答
- (4) 調査時期 令和 6 年 1 月 5 日～2 月 5 日

II 周辺市民による消費行動調査

- (1) 調査対象 国東市、杵築市、日出町、大分市在住の計 500 名
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より層化無作為抽出
- (3) 調査方法 質問紙郵送、Web 回答
- (4) 調査時期 令和 6 年 1 月 5 日～2 月 5 日

3. 回収結果

【流通調査】

発送数 1,861 件

有効回答数 261 件（有効回答率 14.0%）

【消費行動調査】

I 別府市民の消費行動調査

発送数 2,068 件

有効回答数 982 件（有効回答率 47.5%）

II 周辺市民による消費行動調査

発送数 500 件

有効回答数 100 件（有効回答率 20.0%）

4. 報告書内のデータ記述について

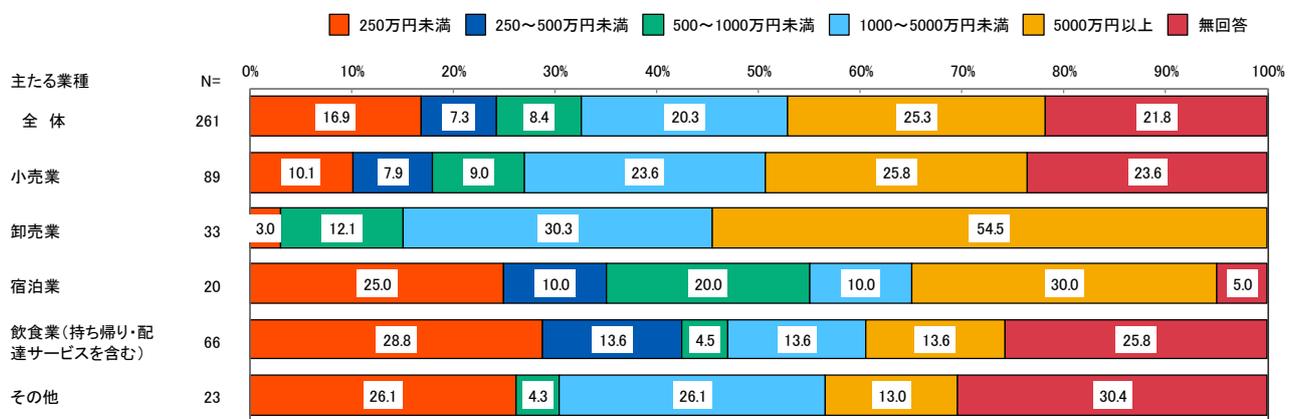
- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。そのため、比率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数とすべき実数は図表中に「N」として記載した。比率はこの基数を100%として算出している。
- (3) 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常100%を超える。
- (4) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューターの処理の都合上、省略している箇所がある。
- (5) 自由記述で得た回答については、内容をカテゴリーごとに分類した上で集計を行った。
- (6) 分析コメントについては、サンプル数が10件未満の場合は省略している場合がある。

Ⅱ 流通調査 調査結果

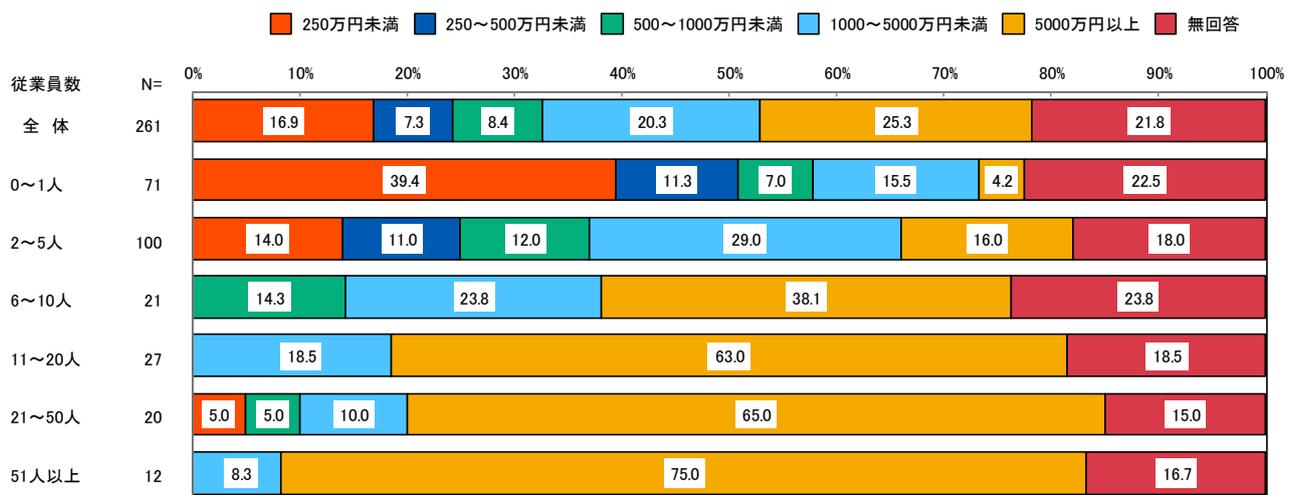
1. 仕入れについて

- ◆ 直近 1 年間の仕入れ額は、全体では「5000 万円以上」が最も高く、次いで「1000～5000 万円未満」となっている。
- ◆ 業種別で見ると、卸売業では仕入れ金額が高い事業者が多い一方で、飲食業では仕入れ金額が低い事業者が多い。
- ◆ 従業員数別で見ると、従業員数が多いほど仕入れ金額が高くなる傾向が見られた。

問 7 直近 1 年間における仕入れ額の合計（主たる業種別）



問 7 直近 1 年間における仕入れ額の合計（従業員数別）



- ◆ 取引金額 1 位の品物の仕入れ先を、回答事業者の業種別に見ると、小売業は卸売業から、卸売業は同じ卸売業及び製造業から、宿泊業は小売業及び卸売業から、飲食業は卸売業及び小売業から多く仕入れている。
- ◆ 取引金額の大きい品物 1 位では、「肉類」が最も多かった。

問 8 取引金額が大きい仕入れ先業種（取引金額 1 位）

回答割合	回答事業者の業種			
	小売業(N=89)	卸売業(N=33)	宿泊業(N=20)	飲食業(N=66)
1位	卸売業 48.3%	卸売業 33.3%	小売業 40.0%	卸売業 31.8%
2位	製造業 4.5%	製造業 27.3%	卸売業 25.0%	小売業 13.0%
3位	小売業 4.5% (同率)	その他 9.1%	情報通信業 10.0%	飲食サービス業 6.1%

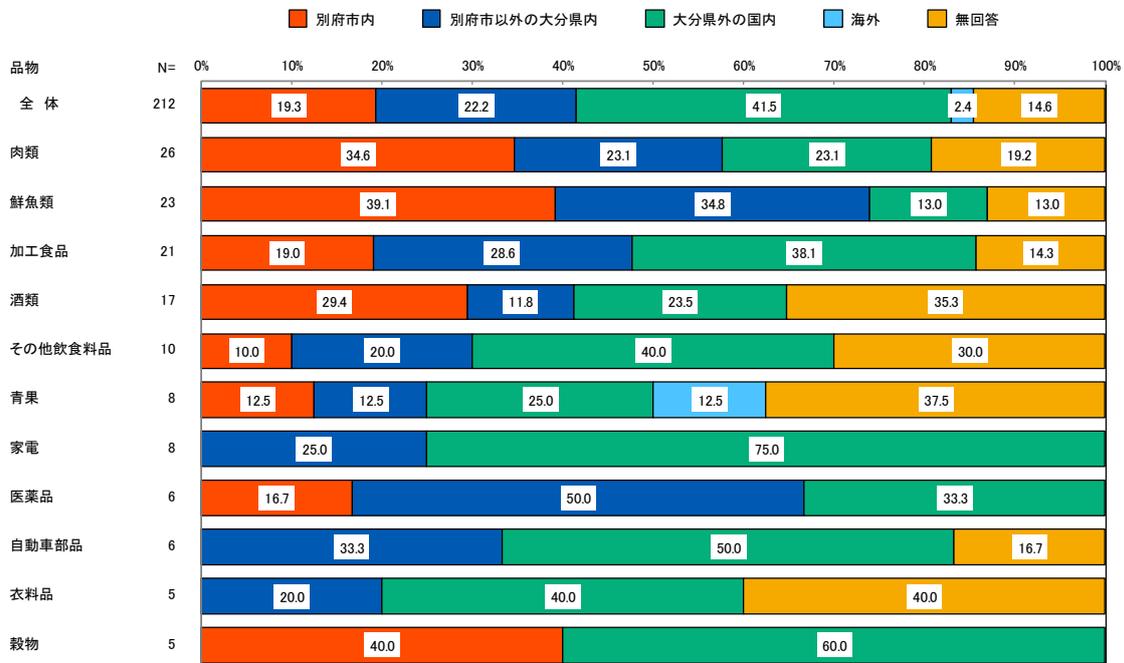
問 9 取引金額の大きい品物（カテゴリー別）

1 位		2 位		3 位	
カテゴリー	件数	カテゴリー	件数	カテゴリー	件数
肉類	26	鮮魚類	19	加工食品	17
鮮魚類	23	酒類	17	青果	12
加工食品	21	加工食品	14	酒類	9
酒類	17	その他飲食料品	11	鮮魚類	8
その他飲食料品	10	肉類	9	その他	7
青果	8	穀物	8	その他飲食料品	6
家電	8	飲料	8	肉類	6
医薬品	6	青果	7	雑貨	6
自動車部品	6	雑貨	7	家電	4
衣料品	5	家電	5	生活用品	3
穀物	5	総計	163	食用油	3
総計	212			穀物	3
				飲料	3
				総計	121

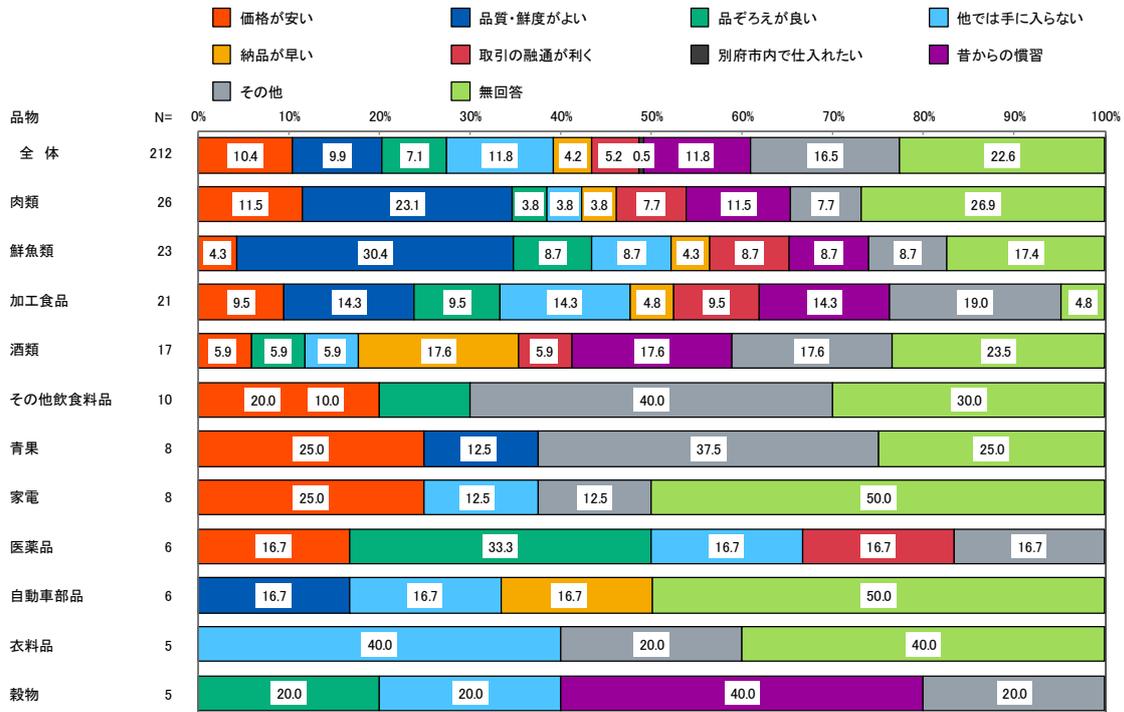
件数の多い上位 10 項目を抜粋して掲載している。

- ◆ 取引金額 1 位の品物について、肉類及び鮮魚類は他の品物よりも、本社が別府市内または別府市以外の大分県内の事業者から多く仕入れている。
- ◆ 取引先を選んだ理由は、肉類及び鮮魚類では「品質・鮮度がよい」が最も高い。

問 9 仕入れ先の本社所在地（取引金額 1 位・品物別）

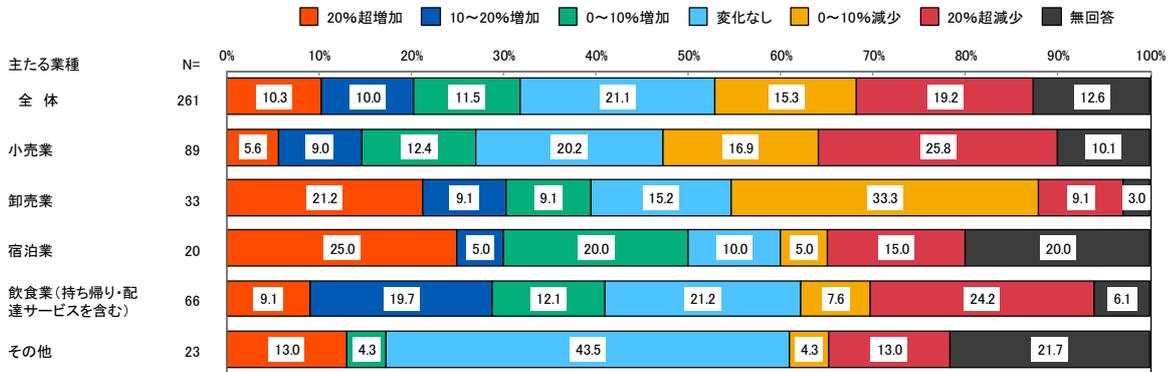


問 9 取引先を選んだ理由（取引金額 1 位・品物別）

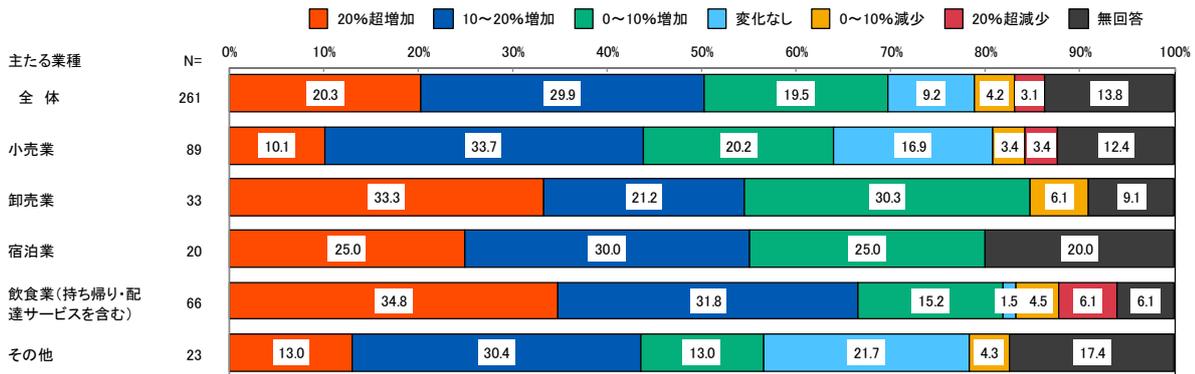


- ◆ 5年前と比較した仕入れの発注量は、宿泊業では増加傾向、小売業では減少傾向にある。
- ◆ 5年前と比較した仕入れの発注単価は及び仕入れコストは、全体的に増加傾向にあるが、卸売業並びに飲食業は増加傾向が顕著である。

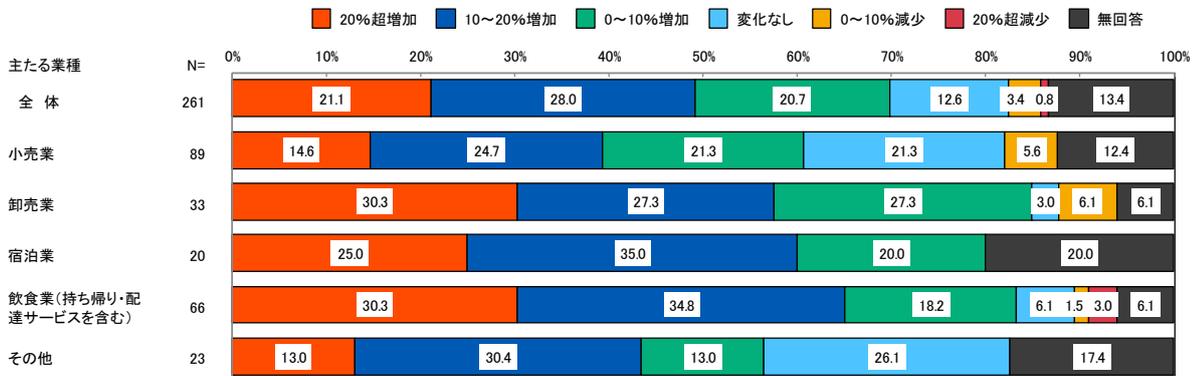
問 10 5年前と比較した、直近1年間（最新決算期）における仕入れの発注量の変化（主たる業種別）



問 10 5年前と比較した、直近1年間（最新決算期）における仕入れの発注単価の変化（主たる業種別）



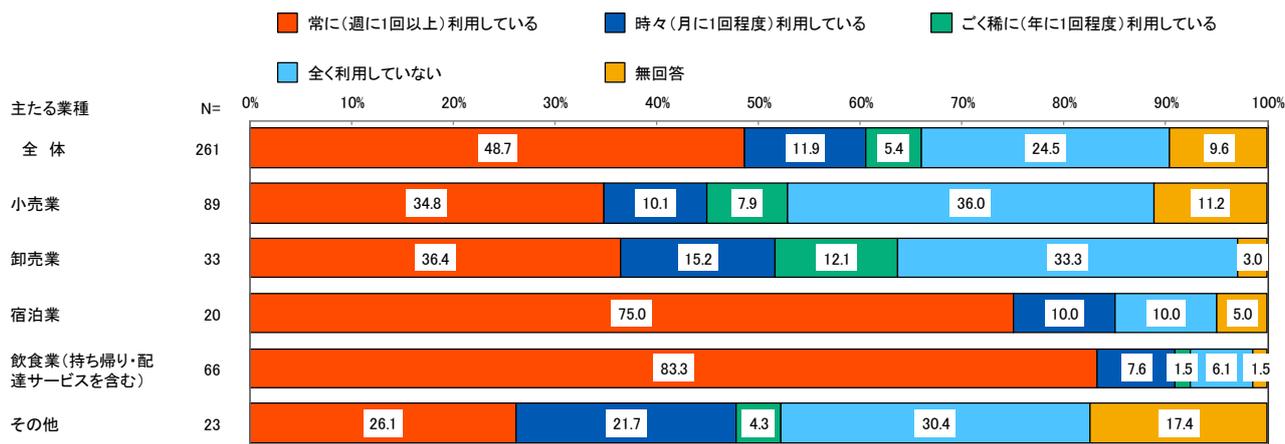
問 10 5年前と比較した、直近1年間（最新決算期）における仕入れコストの変化（主たる業種別）



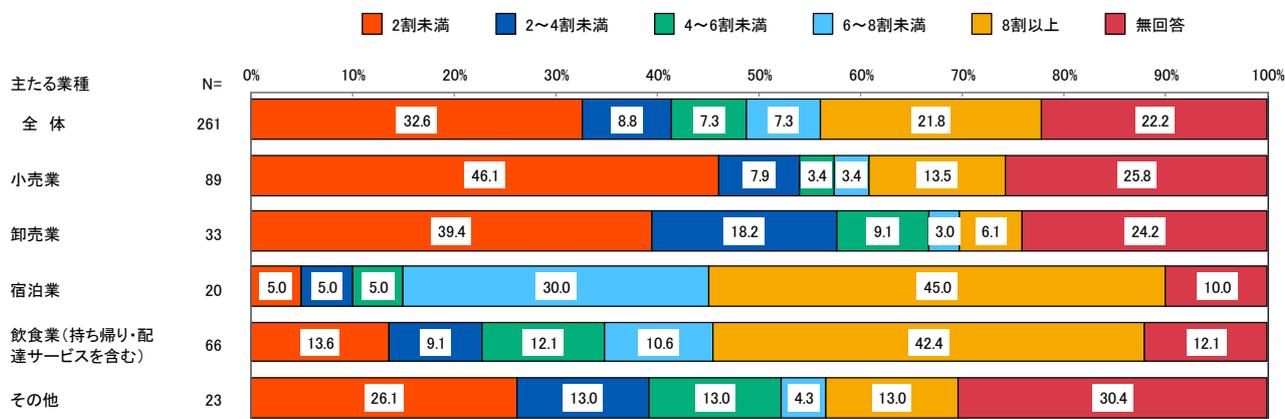
2. 別府市内・E C（電子商取引）での仕入れについて

- ◆ 別府市の事業者を利用している程度は、宿泊業及び飲食業は常に（週に1回以上）利用している事業者が多いのに対し、小売業及び卸売業は全く利用していない事業者が多い。
- ◆ 別府市内の事業者からの仕入れ金額の割合については、宿泊業及び飲食業は8割以上を占める事業者が多数であったのに対し、小売業及び卸売業は2割未満の事業者が多数であった。

問 11 別府市内の事業者をどの程度利用しているか（主たる業種別）

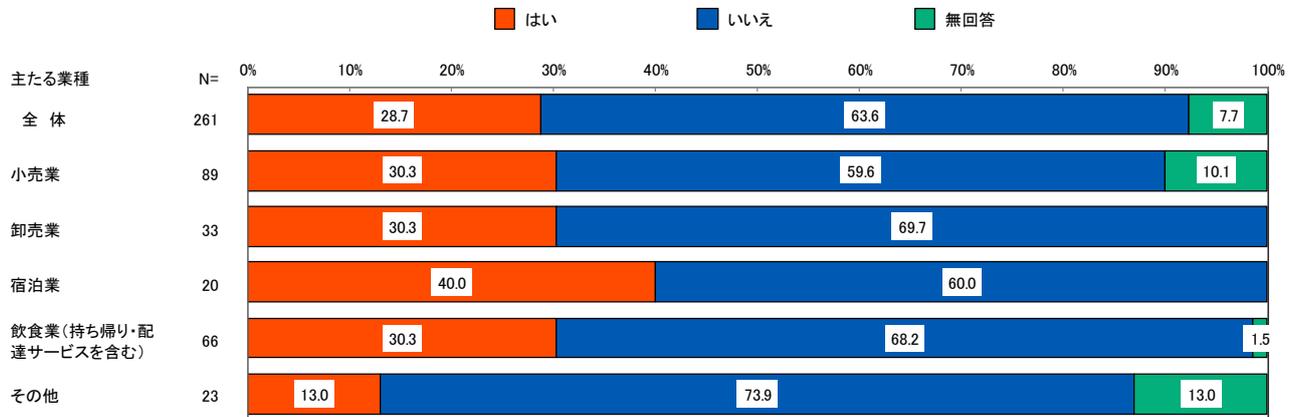


問 12 仕入れ金額全体に占める、別府市内の事業所からの仕入れ金額の割合（主たる業種別）



- ◆ 宿泊業は他の業種よりも仕入れで EC を利用している割合が高いものの、全体では利用していない事業者が多数であった。
- ◆ EC で仕入れているもののうち、取引金額 1 位の品物では「加工食品」が最も多かった。

問 13 EC（インターネットなどでの電子商取引）での仕入れの有無



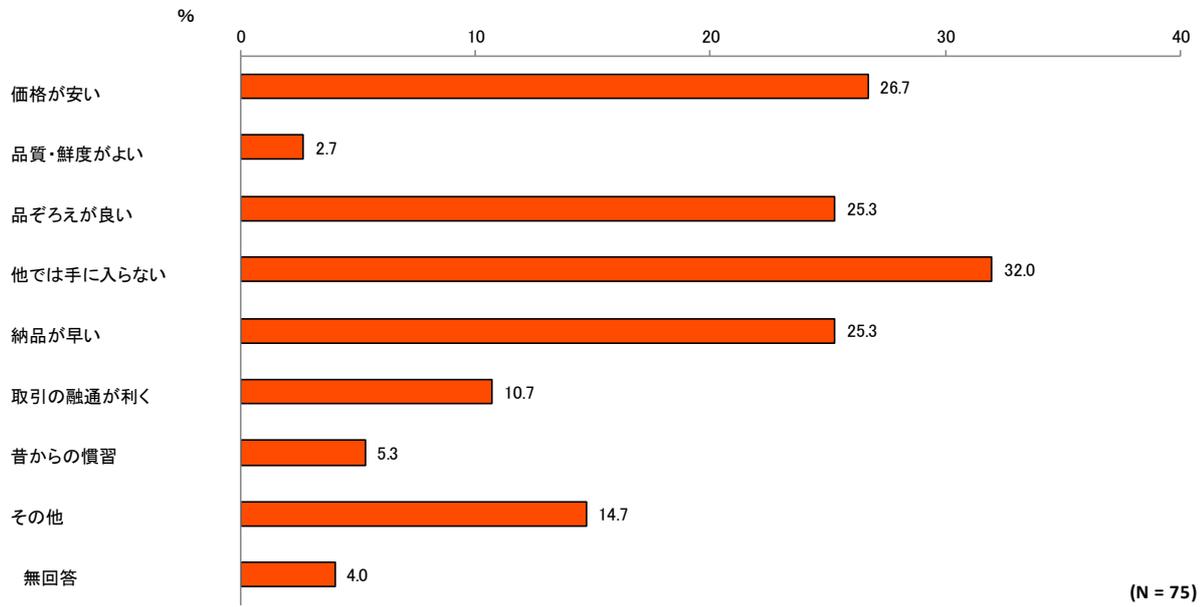
問 14-1 ECで仕入れているもののうち、取引金額が大きい品物

1 位		2 位		3 位	
カテゴリー	件数	カテゴリー	件数	カテゴリー	件数
加工食品	9	その他	5	飲料	2
その他	8	加工食品	4	鮮魚類	2
穀物	5	雑貨	4	家電	2
衣料品	5	オフィス用品	3	青果	1
その他飲食料品	3	衣料品	2	包装資材	1
酒類	3	家電	2	加工食品	1
紙類	2	学校用品	1	その他	1
自動車	2	書籍	1	酒類	1
飲料	2	その他飲食料品	1	靴	1
鮮魚類	2	青果	1	総計	12
電機部品	2	通信	1		
家電	2	鮮魚類	1		
生活用品	2	穀物	1		
総計	68	塗料	1		
		CD	1		
		包装資材	1		
		オートバイ部品	1		
		酒類	1		
		自動車部品	1		
		総計	33		

件数の多い上位 10 項目を抜粋して掲載している。

- ◆ ECを利用する理由は、「他では手に入らない」「価格が安い」「品ぞろえが良い」及び「納品が早い」といった項目が高い。

問 14-2 ECを利用する理由



4. ヒアリング調査結果

アンケート調査の対象事業者の中から、大型宿泊施設及び大型小売店を運営する事業者の計5件を対象として、ヒアリング調査を行った。なお、自由回答の設問については、原則的に原文のままの表現としているが、表記の誤りなどを、趣旨を損なわない範囲で一部訂正した箇所がある。ここでは、調査の趣旨に則した質問に限定し、代表意見を抜粋して掲載する。

質問3. 各年で売上高に大きく影響するような出来事やイベントなどがございましたら、それぞれお知らせください。

【令和4年（2022年）】

- 特になし

【令和5年（2023年）】

- 新型コロナウイルスの感染法上の分類変更

質問4. 別府市内で事業を行うにあたり、商品等の仕入れに関してお困りの課題がございましたら、お知らせください。

- 都会よりもロットの縛りが多い為、在庫過多になりやすい。
- 魚の水揚げされる種類が少なく、メニューに組み込みにくい。(養殖物になりがち)
- 受発注システムを利用しているが、取引先の高齢化により、システムが活用しきれていない。
- 大分県北部の魚類が手に入りにくい。
- 別府の魚市場がうまく機能していない。
- 別府市だから商品が入りにくいといったことはないが、人員不足によりフロアマネージャーがバイヤーを兼務しているため時間が取れず、新しい商材の開発や交渉が進めにくい。

質問5. EC（インターネットなどでの電子商取引）での仕入れを行っている場合、EC特有の課題がございましたら、お知らせください。ECでの仕入れを行っていない場合は、その理由をお知らせください。

- 海外から仕入れる場合、商品の品質、納期が不安定な事が多い。
- 電話やFAXなど、旧来の方法が当社には適している。
- 今のところ、ECの必要性やメリットはあまりないよう考えている。
- 行っていない。システム障害時に商品仕入れが困難になるリスクがある。

質問6. 現在の別府市中心市街地の活性化状況についてのご意見をお知らせください。

- 地元企業の活性化を優先して欲しい。
- 食に関するコンテンツで特徴をつけることが出来れば良いと思う。
- 北浜地区へのホテル出店により、観光客は国内、インバウンド共に増加している。
- 街中でのイベントなど、観光客に喜んでいただける企画を実施して欲しい。

質問7. 別府市中心市街地に関して、その他ご意見等ございましたら、お知らせください。

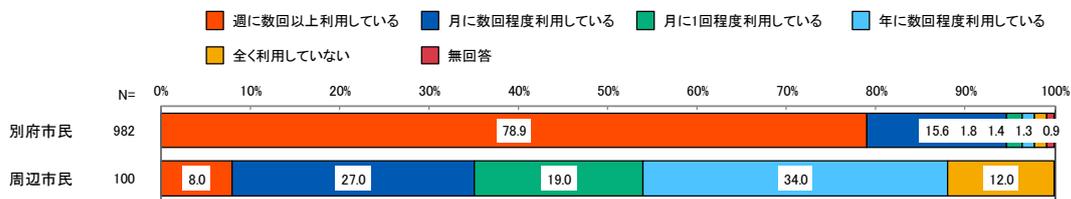
- 駅周辺におけるお客様のドロップオフ、ピックアップスペースが限られ、一般車、タクシー、バス、各社送迎車などが行き交っていて混雑し、常に事故やトラブルの懸念がある。また、市中心部から大分空港へ向かう場合、別府駅・北浜間の徒歩またはタクシーでの移動が必要であり、アクセスの改善が望まれる。
- 地元を大切にしたい。
- 駅、港、鉄輪地区などの交通手段として、電気自動車の普及を拡大した方が良いのではと思う。
- インバウンドの顧客が増加している中で、言葉の面の課題を解消するために外国人向けインフォメーションを拡充したい。

Ⅲ 消費行動調査 調査結果

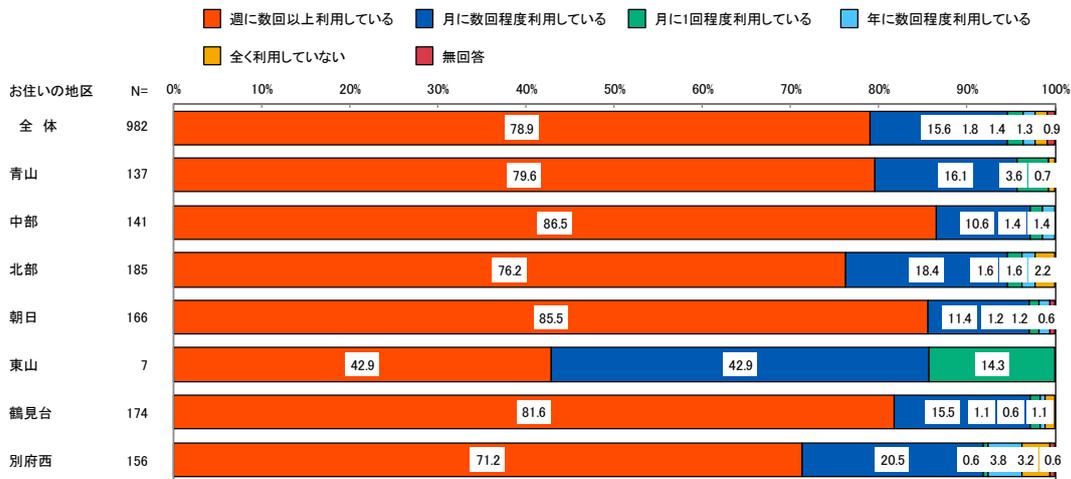
1. 日常の買い物について

- ◆ 別府市内の店舗の利用頻度は、別府市民全体では「週に数回以上利用している」が 8 割程度と最も高い。
- ◆ 地区別で見ると、東山以外では「週に数回以上利用している」が 7 割を超えて最も高い。中部及び朝日では 8 割半ばと、他の地区より特に高くなっている。
- ◆ 周辺市民の市町別で見ると、「週に数回以上利用している」及び「月に数回程度利用している」は日出町が最も高い。一方で、「全く利用していない」は大分市が他の市町と比べて大幅に高い。

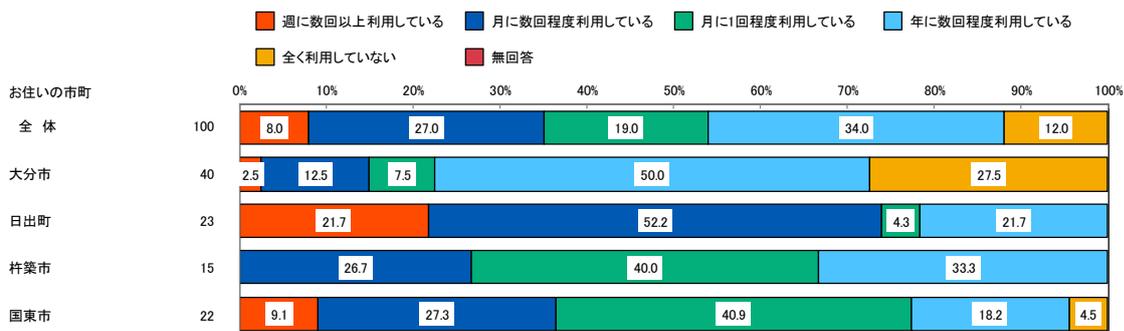
問 2 別府市内の店舗をどれくらいの頻度で利用しているか



問 2 別府市内の店舗をどれくらいの頻度で利用しているか（別府市民・地区別）



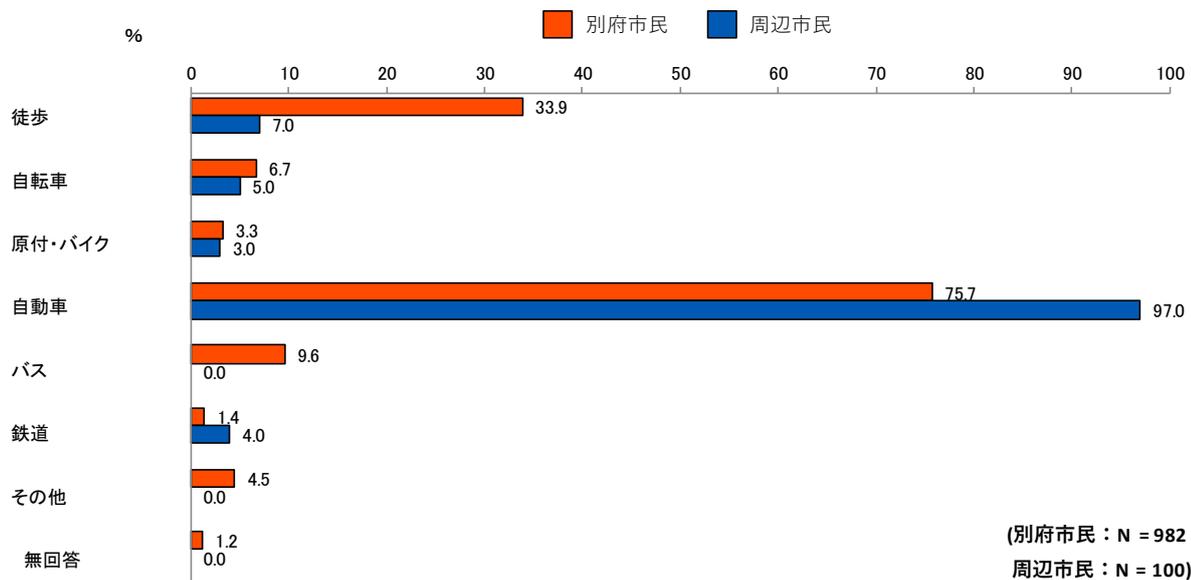
問 2 別府市内の店舗をどれくらいの頻度で利用しているか（周辺市民・市町別）



- ◆ 買い物に利用する交通手段は、別府市民全体では「自動車」が最も高く、次いで「徒歩」「バス」の順番で高い。

◆ 10歳代及び80歳以上では「徒歩」が、それ以外の年齢では「自動車」が最も高い。

問3 買い物に利用する交通手段

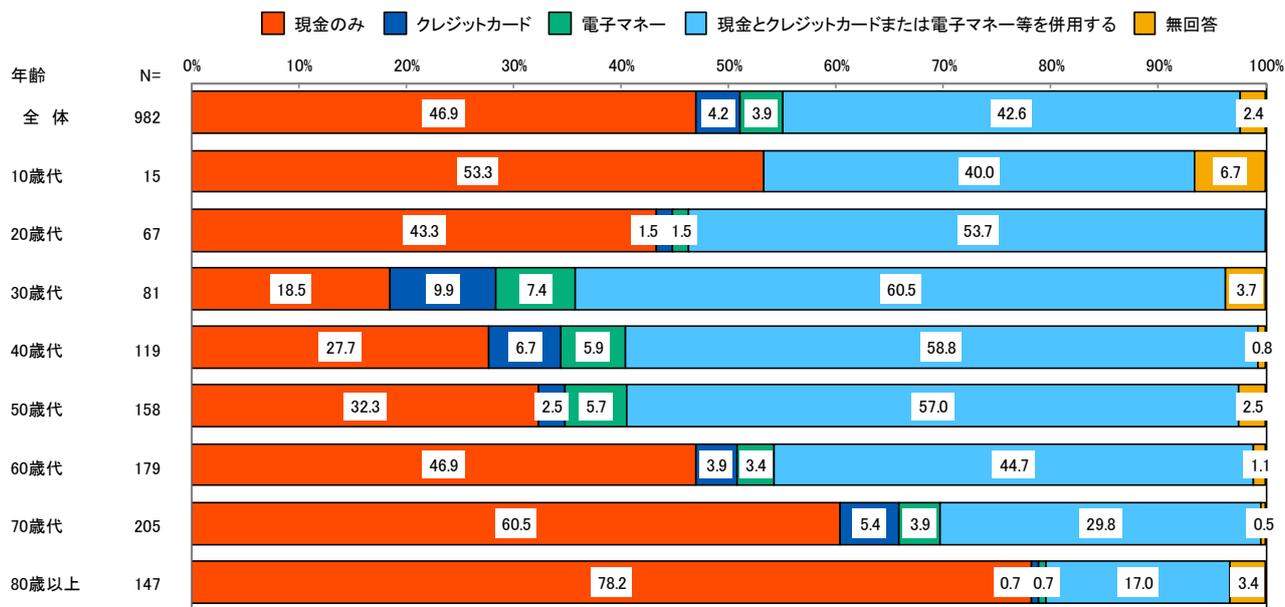


問3 買い物に利用する交通手段（別府市民・性別）

		全体(人)	徒歩	自転車	原付・バイク	自動車	バス	鉄道	その他	無回答
全体		982	33.9	6.7	3.3	75.7	9.6	1.4	4.5	1.2
年齢	10歳代	15	73.3	26.7	0.0	46.7	26.7	6.7	0.0	6.7
	20歳代	67	43.3	9.0	3.0	65.7	16.4	7.5	1.5	0.0
	30歳代	81	37.0	7.4	1.2	90.1	6.2	0.0	0.0	0.0
	40歳代	119	26.1	8.4	2.5	93.3	2.5	0.0	0.0	0.0
	50歳代	158	24.7	5.7	3.8	88.0	4.4	1.3	0.6	0.0
	60歳代	179	33.5	5.0	3.9	82.7	12.3	1.7	0.6	0.0
	70歳代	205	30.7	7.3	4.9	76.6	9.3	1.0	4.4	0.5
	80歳以上	147	46.9	4.8	2.0	41.5	15.6	0.7	21.8	2.0

- ◆ 買い物においての主な支払方法を年齢別に見ると、「現金のみ」は10歳代から30歳代にかけて年齢が高いほど低くなる傾向があり、30歳代で最も低い。30歳代以上は年齢が高いほど高い傾向がある。
- ◆ 反対に「現金とクレジットカードまたは電子マネー等を併用する」は、30歳代でピークを迎え、30歳代以上は年齢が高いほど低い傾向がある。

問4 買い物においての主な支払方法（別府市民・年齢別）



- ◆ 各商品別に購入場所を尋ねたところ、衣料品及び贈答品は、どちらも別府市民は「別府市内の大型ショッピングセンター、デパート」が1位、「別府市を除く大分県内大型ショッピングセンター、デパート」が2位であった。
- ◆ 反対に、周辺市民は衣料品で項目の順位が逆転し、贈答品では「別府市を除く大分県内大型ショッピングセンター、デパート」が1位、「通信販売・宅配サービス」が2位となった。

問5 商品別の購入場所（別府市民・周辺市民）

購入場所	食料品	日用雑貨品	衣料品	家電製品・家具	趣味・娯楽品	贈答品	
別府市民	1位	自宅近くのスーパーマーケット	ドラッグストア、ディスカウントストア、家電量販店等	別府市内の大型ショッピングセンター、デパート	ドラッグストア、ディスカウントストア、家電量販店等	通信販売・宅配サービス	別府市内の大型ショッピングセンター、デパート
	2位	自宅周辺以外のスーパーマーケット（別府市内）	自宅近くのスーパーマーケット	別府市を除く大分県内大型ショッピングセンター、デパート	通信販売・宅配サービス	別府市内の大型ショッピングセンター、デパート	別府市を除く大分県内大型ショッピングセンター、デパート
	3位	ドラッグストア、ディスカウントストア、家電量販店等	別府市内の大型ショッピングセンター、デパート	通信販売・宅配サービス	別府市内の大型ショッピングセンター、デパート	別府市を除く大分県内大型ショッピングセンター、デパート	通信販売・宅配サービス
周辺市民	1位	自宅近くのスーパーマーケット	ドラッグストア、ディスカウントストア、家電量販店等	別府市を除く大分県内大型ショッピングセンター、デパート	ドラッグストア、ディスカウントストア、家電量販店等	通信販売・宅配サービス	別府市を除く大分県内大型ショッピングセンター、デパート
	2位	ドラッグストア、ディスカウントストア、家電量販店等	自宅近くのスーパーマーケット	別府市内の大型ショッピングセンター、デパート	通信販売・宅配サービス（同率一位）	別府市を除く大分県内大型ショッピングセンター、デパート	通信販売・宅配サービス
	3位	コンビニエンスストア	通信販売・宅配サービス	通信販売・宅配サービス	別府市を除く大分県内大型ショッピングセンター、デパート	別府市内の大型ショッピングセンター、デパート	別府市内の大型ショッピングセンター、デパート

※別府市民と周辺市民で同じ順位で比較して項目が異なる場合は赤色に塗りつぶした。

- ◆ 買い物の際に最も重要視することを各商品別に尋ねたところ、別府市民と周辺市民で全ての項目で1位は同一であった。
- ◆ 2位以降については差が見られ、別府市民は食料品及び贈答品で「値段が安い」が2位であり、周辺市民は食料品では「鮮度・品質が良い」が、贈答品では「自宅近くで買物時間を優先できる」が2位であった。

問5 買い物の際に最も重要視すること（別府市民・周辺市民）

最も重要視すること	食料品	日用雑貨品	衣料品	家電製品・家具	趣味・娯楽品	贈答品
別府市民	1位	自宅近くで買物時間を優先できる	値段が安い	品揃えが豊富	品揃えが豊富	品揃えが豊富
	2位	値段が安い	品揃えが豊富	値段が安い	値段が安い	値段が安い
	3位	鮮度・品質が良い	ポイントカードやスタンプカードが利用できる	一箇所で何でも揃う	ポイントカードやスタンプカードが利用できる	一箇所で何でも揃う
周辺市民	1位	自宅近くで買物時間を優先できる	値段が安い	品揃えが豊富	品揃えが豊富	品揃えが豊富
	2位	鮮度・品質が良い	品揃えが豊富	値段が安い	値段が安い	自宅近くで買物時間を優先できる
	3位	値段が安い	自宅近くで買物時間を優先できる	自宅近くで買物時間を優先できる	クレジットカード・電子マネーが利用できる	クレジットカード・電子マネーが利用できる

※別府市民と周辺市民で同じ順位で比較して項目が異なる場合は赤色に塗りつぶした。